



★ 新型コロナウイルスに負けるな！(Part 3)

(1) できない理由を述べるより、どうすればできるかを考える。

今年になってから毎日ずっとTVをつければコロナのニュースばかり。流石に君たちも疲れてきたことでしょう。とはいっても、今が肝心です。ここで気を緩めたら、また感染者数が急増します。お互い、頑張りましょう！

さて、現在大学ではオンライン授業が始まっています。私も「数学科教育法(1)」をZoomで行っています。Zoomはグループワークができ、ほぼ対面授業と同じ形式の授業ができるので助かっています。このように大学では、有無を言わず、授業でのICT機器活用が求められています。大学の先生は年配者が多いので、ICT機器の苦手な方が多いと思います。でも、そんなことは言っていられないのです。「・・・だから無理」「・・・だから、できない」と言っても始まらないのです。教員はもちろん、社会に出ると「できない理由を述べるより、どうすればできるかを考えろ！」と言われる。また、「まずできるところから始めて、進めながら修正せよ」とも言われます。企業や行政で新しいプロジェクト(事業)を始めるとき、100%確実などということは絶対にありません。「確実性が7割ならGO!」というのが普通です。進めながら修正し、確実さを8割以上に高めていくのです。君たちも教員の論文や筆記試験・面接が難しいなどと言っていないで、どうすれば合格するのかを考えてください。いくらでも応援します。

(2) いつでも教育者としての視点でものを見よう。

3月以来毎日4年生や卒業生から論文添削依頼のメールが来ています。その数は、実に150件を超えました。毎日送ってくる人もいます。その意欲は大変素晴らしい、合格させてあげたいという気持ちが湧いてきます。既に30回を超えた4年生もいます。さて、前文の「問題のキーワードが実現できていない残念な現状」のところで、何故新型コロナウイルスについて書かないのでしょうか。確かに、論文では自分なりの型をもつ必要があります。でも、「思いやりの心の育成」や「いじめの根絶」というテーマで、世界中でこれほど騒がれている状況を見無視して、「しかし、残念ながらいじめのニュースが後を絶たず、心が痛む。」と書くのはどんなものなのでしょう。間違いではないですが、例えば「しかし、残念ながら、新型コロナウイルスと闘っている医療従事者やその子どもがいじめにあっていると聞く。学校教育における思いやりの心の育成(いじめの根絶)が急務であると痛感する。」という書き方をした場合、読み手は、「この人は合格論文の書き方を練習しただけでなく、世の中のことを教育者の視点から見ている人なのだ。こういう人には是非とも教壇に立って生徒を指導してもらいたい」と思うのです。皆さんは教育学の研究者になるわけではありません。教育の実践的なフロになるのです。フロ教師は、常に教育者の立場からものごとを見るのです。

(3) 理系的なものの見方も大切。

君たちは、数学・理科・情報の教員を目指している人たちです。近い将来、生徒たちにそれらを教える立場になります。知識を教えることも大切ですが、これからの理系教師に求められているのは「ものの見方・考え方」の指導です。「数学的(科学的)な見方・考え方とは、どんな考え方ですか?」という質問に面接で答えられても、行動が伴わなければ意味がありません。例えば、外出自粛を8割頑張りれば感染者数は減っていくが、6~7割では指数関数的に増えていくというグラフ(のようなもの)をどのTVの番組でも報じていました。そして、TV局も出演者もそれを盲信し、その根拠を求めようとはしません。そのグラフ(のようなもの)によれば、8割自粛すれば、曲線のグラフがある瞬間に折れ線となって急激に下降しています。それはどのような関数や方程式に基づいているのだろうか?と考えるのが理系です。ある点でグラフがとがっているということは微分不可能な点であるということです。そんなカタストロフィ理論のようなことが起きるといふなら、その根拠を示すのが理系です。根拠の明確でない説明には納得しないのが理系です。最近では、自治体の人口10万人当たりの感染者数が0.5人以下なら緊急事態宣言を解除するという基準が出ていますが、0.5人という数字の根拠は何か明らかになっていません。また、東京都のような大都会とそうでない県と同じ条件で大丈夫なのでしょうか?理系の君たちは、その説明で納得できるのでしょうか。「根拠を明らかにして説明できること」は、数学教育で生徒に育てるべき態度の一つです。まずは、君たち自身が手本を示さなくては行けないと感じます。生きる力、確かな学力、思考力・判断力・表現力、主体的・対話的で深い学び、社会に開かれた教育課程・・・etc.言葉の意味だけを知っていても仕方ありません。教師には、言行一致が求められます。

★ 教職課程センター主催の個人面接練習・集団討論練習・模擬面接・教採向け模擬授業の参加者募集

- コロナ対策のため、今年は全てzoomを用いて行う予定です。(入構禁止が解除になれば、教室を用意します)
- 既に4年生の「教職実践演習」、3年生の「教育実習事前指導」の学習支援システムを用いて申込書を配布済です。学年は不問です。参加希望者でまだ申込書を受け取っていない人は、kkckあてにメールしてください。
- 特定の時間帯に希望者が殺到した場合は、今年受験する人を優先します。予めご了承ください。
- **申込×切は、5月31日(日)正午**です。その後、日程の決定通知とzoomの招待URLを参加者に送ります。
- 7月29日(水)、31日(金)の模擬面接は今年受験する人には必修ですが、それ以外の人も参加できます。その2日間は、(少なくとも上半身は)スーツで受けてください。

【合格論文の書き方 最終チェック】

法政大学生諸君の
全員合格を
期待しています！

《はじめに》

シャープペンシルの芯の濃さはB以上か。消しゴムを2つ以上用意したか。受験票を持ったか。会場確認は大丈夫か？

《前文》 次の①～④が書いてありますか？

- ① 問題のキーワードが抽象的だったり、複数の意味をもっていたりするときは内容を絞る。(2つの柱を意識する)
例・私は、教師の使命とは、どの生徒に対してもその個性を十分伸ばすことであると考える。
・私は、生きる力の中でも、思考力・判断力・表現力などの確かな学力が極めて重要と考える。
・私は、求められる教員の資質のうち、授業力と生徒理解力が特に重要と考える。」
- ② 問題のキーワードが何故重要なのか、理由を簡潔に書く。「これからの持続可能な社会」は、結構使えるキーワード
- ③ 「しかし、残念ながら現状は・・・」(否定的なことを断定的に書かない。キーワードが不十分な子どもの姿を書く)
例・しかし、残念ながら現状は思いやりの心の育成が十分でなく、いじめによる自殺が後を絶たず、心が痛む。
・しかし、残念ながら現状は遅刻や身だしなみの乱れが多く、基本的な生活習慣が徹底できていないと聞く。
・しかし、残念ながら現状は、ややもすると教師の説明だけによる一方的な授業になりがちで、主体的・対話的な学習が少ない傾向がある。」
★全国的にいじめがあるのは事実なので、「～と聞く」という表現でなくても大丈夫。
- ④ 論文の結論(決意)を書く。特に、校種と教科を明示すると読み手がイメージしやすい。
例・私は、中学校数学科教師として、学習指導と社会に開かれた教育課程の視点から(問題のキーワード)を実現する。

《本文》

(柱) 必ず体言止め。キーワードが3つあるときは、柱1と柱2の2つに分ける。(800字～1000字では柱2つが普通)

- 例・主体的・対話的な学びを行うための学習指導の工夫
・深い学びを実現するための社会に開かれた教育課程の推進

(論) 柱1では学習指導と問題のキーワードの、柱2では地域連携と問題のキーワードの関係を、簡潔に力強く述べる。

- 例・理科の授業は、主体的に取り組む態度を育成する上で最適の場面である。
・日々の授業の中で友達と学び合うことで、他者を思いやる心は育つ。
・授業は、教員の生命線である。授業力向上こそ、教員の資質向上に直結する。
・地域連携は、社会貢献の精神を育む絶好の機会である。
・生徒は、学校だけで育つわけではない。生徒の思いやりの心は、地域や社会との関わりの中で大きく育つ。
・授業は学校の根幹であり、チーム学校の中心である。授業の充実は、チーム学校に不可欠である。

(例) 体験自体はいつも同じでよいが、文末を問題のキーワードに合わせる事が重要。キーワードに寄せて書く。

- 例・私は、高校時代にICT機器を活用した授業を受けた。生徒は教師の指示に従って行動していたが、残念ながら自ら考え、試行錯誤を通して何かを発見する姿からは遠かった。この体験から私は、・・・(失敗体験から学ぶことも重要)
・私は、高校時代にICT機器を活用したグループ学習を行った。グループ学習では相手の考えを尊重しないと話が進まないの、他者を思いやる心の育成に極めて有効であると学んだ。この体験から私は、・・・

(策) 策①は(例)の体験と関連した方策を書く。各方策の文末を問題のキーワードに寄せて書くこと！

策は、具体的なものを必ず2つ以上書く！決められた文字数より短くなりそうなら、3つ目の策や価値付けを書く。

- 例・授業にICT機器を活用し(ロールプレイングやディベートを通して)、主体的で対話的な学びを行う。
・単元に1回以上実験を行い、確かな学力を育成する。
・日常生活に関連した教材を用いて、生徒に学ぶ意義を感じさせる。
・授業中に人権侵害の発言があった場合はその場で授業を止め、毅然とした態度で指導する。(キーワード:人権教育)
・グループ学習やペア学習を用いて学び合いをさせ、思いやりの心を育てる。
・授業開始時・終了時の挨拶励行、提出物の期限厳守を徹底し、基本的な生活習慣の定着を図る。
・「身だしなみ週間」「遅刻防止週間」を設定し、生徒会の生徒と一緒に校門に立ち、基本的な生活習慣の徹底を図る。
・家庭や地域から講師を招いて、「問題のキーワード」というテーマで講演会(シンポジウム、交流会)を開く。
・近隣の小中学校と連携し、生徒を学習ボランティアとして派遣し、生徒の学びを深める。
・学校通信を地域の掲示板に貼ったり、学校公開を実施したりして、チーム学校の基盤をつくる。(教師論)
・家庭との連携を図り、「家庭生活ノート」に家庭での様子を記入させて生徒理解を図る。
・スクール・ソーシャル・ワーカー(スクール・カウンセラー)と連携し、一層の生徒理解を図る。(教師論)
・生徒と共に地域清掃ボランティアに参加し、地域からの信頼を得る。(教師論)
・研修センターの研修会や教科の研究会に参加し、授業力の向上を図る。(教師論)

《まとめ》 次の内容で論文を締めくくる。フォーマットは、各自で用意しておく。(ほとんどの人が、大変よくできています)

- ①教師としての夢・理想 ②柱の文言が入っている。 ③問題のキーワードが入っている。 ④教師としての決意